

石森の家 (2005年)

市内の高台にある住宅地に建つ住宅です。敷地の特異性から平の街を見下ろす月見台を計画しましたが、満天の星空も期待できそうです。ここではオール電化を希望されたこともあり、はじめて深夜電力によるスラブヒーターの設置をしました。結果としてかなり快適な環境が生まれました。もちろん断熱・気密・換気はしっかりとしておかなければなりません。ランニングコストも想定を超える経済性でありました。



断熱材はセルローズファイバー、工法はツーバイフォーのパネル工法を採用して工期の短縮をはかりました。クライアント参加型の工事を目指していますので内壁の貝殻漆喰壁のローラー仕上げはクライアントが行っています。

北風が強いということもあり、玄関は囲いを設け入り口にはアルミサッシュの片引き戸を使用しました。



当事務所の設計では極力ドアは使用しないことにしていますので、この工事では全て片引き戸になっています。住宅にはブラインド、カーテン等の使用には疑問を感じますので、クライアントの了承を得て全て障子を採用しました。

もう一つの設計にあたっての共通項は独立した子供部屋はつくらないこと。子供達はいつか自分の居場所をしっかり探し出すはずですから。



リビングも決して大きくはありませんが南面に張り出すウッドデッキが広がりをおたえてくれています。

浴室も敷地の状況から南面です。お隣さんを考えて東面に水廻りを集中させました。特に住宅地ではプライバシーの考慮が必要になります。

夏は月見台でビールでしょうか。

Data

所在地：福島県いわき市内

家族構成：夫婦+子供二人

構造規模：木造枠組壁パネル工法、二階建て

設計監理：吉田敏彦建築設計室